

令和7年度 学校経営方針

南さつま市立金峰学園

1 学校経営の基調

諸法に基づき、県・地区・市教育行政を踏まえ、「義務教育学校金峰学園の教育」をさらに推進する。これまでの取組を礎として、前・中・後期3ブロック（4・3・2）制の教育体制を実のあるものにしていくためにイノベーションを発揮させ、躍動感のある教育活動を創造していく。

2 学校教育目標

ふるさと金峰を愛し、自ら学び、心豊かでたくましい未来を切り拓く子どもの育成			
めざす学校像	めざす子ども像	めざす教師像	
○安心、安全に学べる学校 ○一人一人を大事にし、明るく活気に満ちた学校 ○夢や希望を育み、自己実現を支援する学校 ○地域と共に歩む開かれた学校	○自ら学び考え行動し、仲間とともに困難を乗り越えられる子ども ○感謝の気持ちを持ち、思いやりのある行動がとれる子ども ○心と体を鍛え、最後までやり抜く子ども ○ふるさと金峰に誇りをもち、何事にも挑戦し、社会に貢献できる子ども	○使命感を持ち、研鑽に努め、自身の資質を高める教師 ○豊かな人間性を持ち、子どもや保護者、地域に信頼される教師 ○一人一人に寄り添い、共に実践し、励まし伸ばす教師 ○チームワークを大事にし、互いに学び合う教師	
【校 訓】	自 主 (Independence) 自ら進んで取り組み	友 愛 (Camaraderie) 仲間と一緒に考えて	創 造 (Creativity) 未来をえがこう
【キャッチフレーズ】 今日学びを大切に、明日の学びを楽しみにできる金峰学園			

3 学校経営の方針

全教育活動を通して、仲間と一緒に、学級・学校・地域をよりよくしていこうとする精神を理念とし、グローバルな視点を踏まえた教育活動を充実させ、子ども一人一人が志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を育む教育を推進する。

(1) 子ども一人一人の個性が発揮され、自己肯定感をもてる学びの充実

- ア 学習指導要領の趣旨を踏まえ社会に開かれた教育課程を編成し、その実施と改善に努めるなどカリキュラムマネジメントに取り組み、心豊かでたくましく生きる力を育む。
- イ 子どものよさを伸ばす指導に努め、生きて働く知識・技能の習得とともに未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ウ 発達の段階に応じて学び方を学ばせると共に、個に応じた学習課題を提供し主体的に解決する学びを充実する。（家庭学習も含む）
- エ インクルーシブ（共生共存）とダイバーシティ（多様性）の視点で、子ども一人一人を大切にすることを前提とし、個性を受け止め、個を生かし、個を伸ばす。協働的な“小さな社会”を構築する。

(2) 仲間と共に学び、共に成長する学びの充実

- ア 自他の大切さを認め、差別や偏見をなくす意識・意欲・態度及びその実践行動を重視した人権同和教育を推進する。
- イ 仲間意識をもたせ、仲間と共に目標に向かって協働する活動を、学級集団及び各ブロック、全校において取り組む。

※ (1)(2)の取組を包括して、特別の教科「道徳」授業実践と共に、全教育活動において、子ども一人一人の道徳性を涵養する。

(3) 常に探究心をもち互いに研鑽し合う、質の高い教師集団の構築

- ア 教育課題解決に向けて全職員の共通理解と協働態勢を基盤として、校内組織の機能化、効率化を図り、教育目標の具現化を目指す。（学年⇔各ブロック⇔全体）
- イ 授業に基づく全体研修・個人研修を実施し、子どもの姿で検証し、授業改善を進める。

(4) 家庭・地域と共にある学校の創造

- ア 家庭・地域との連携、学校運営協議会（CS）の充実を通して、特色ある教育活動を推進する。
- イ 学校及び学級の経営方針を三者で共有し、それぞれの役割を担いながら教育活動の充実を図る

(5) 新たな校風の創造

ア 金峰学園コンセプトに基づく教育活動を進め、子ども一人一人が学園の一員として新しい学校の“創り人”であることの自覚を持たせる。

イ 子どもと教師のイノベーションを発揮させ、躍動感のある教育活動を創造していく。

4 学校経営全体構想図

